

## 東日本大震災 震災の記録 注釈

### <注釈1>

平成23年3月19日（土）

地域住民による校舎1階及び体育館の清掃活動が行われました。

地域住民やPTA会員約300人が参加してくださいました。この当時、綾里の世帯数は約850世帯でしたので、2～3軒に一人が駆けつけるという、まさに綾里総出での復旧作業でした。

清掃する方々の中には、平成23年度も伝統の4月1日の入学式を実現させようという考えをもつ方もおられました。

混乱の中だからこそ4月1日に入学式を行い、「私たちは元気だぞ！」と全国に発信しようと一部の教職員も考えていましたが、市教育委員会の指示により4月21日に市内一斉の入学式となりました。

この時の地域住民の方々への感謝の気持ちは忘れることができません。

(※記録写真参照)



### <注釈2>

平成23年4月20日（木）

平成22年度卒業証書授与式がありました。

この約一か月前の3月18日（金）、震災後初めて綾里小学校の児童及び教職員が、避難所である綾里中学校の視聴覚室に集まり、抱き合ったりしながら無事に再会できたことを喜び合いました。

この日は、まず修了式を行い、次に卒業生に退職を迎える校長先生から「今回、たくさんの人たちにお世話になったと思う。感謝の心と希望をもち続けてほしい。」とメッセージが贈られました。卒業式ができなかったのは、卒業証書が津波で流されてしまったからです。

この後、教職員は、児童の一人一人の被害状況を確認しました。

そして、児童は保護者とともに小学校を訪れ、泥だらけになったランドセルや愛用の学用品を大事そうに抱え、学校を後にしました。

そうして迎えた4月20日（木）でした。例年、卒業証書授与式は小学校の体育館で行われていましたが、さすがに復旧するまでには至らず、式は多目的ホールで行われました。

参加者は卒業生、保護者、教職員のみで、在校生や来賓の参加はありませんでした。卒業生は30名。全員無事に卒業しました。

式は証書授与のみで、歌や呼びかけはありませんでした。

卒業生1名の母親が津波の犠牲になっていました。その児童に証書を授与する際、校長が号泣してしまい、会場は深い悲しみに包まれました。

### <注釈3>

平成23年4月21日（金）

平成23年度入学式がありました。

例年であれば、伝統的に4月1日に行われるはずの入学式も市教育委員会の指示のもと、4月21日（金）に行われました。

入学生は24名。来賓は16名。在校生は参加しませんでした。

保護者の申し合わせにより、伝統の羽織袴姿での参加は見合わせることにし、全員私服での入学式となりました。